



今年の夏は、梅雨明け後に台風5号が接近し、仙台七夕まつりの最終日(8日)は、屋外イベントが中止になるなどの影響が出ました。

台風・大雨のシーズンは、これから本番といえます。昨年8月30日は台風10号が岩手県に上陸し、2015年9月11日には関東・東北豪雨により、各地で犠牲者や家屋の浸水など大きな被害が出ました。



及川アドバイザーの

学ぼう防災

5

台風・大雨の家族防災会議

【確認してほしいこと】

- ① ハザードマップをもとに、自宅近くに水害や土砂災害のおそれのある場所があるかを確認する。
- ② もしもの時の避難場所や避難ルートを複数考えておく。
- ③ 非常持ち出し袋は、避難しやすいように必要最小限の中身を考えて置き場所を決める。
- ④ 大雨時の避難は、長靴ではなく運動靴などの歩きやすい靴で(長靴に水が入ると動きにくくなります)、長い棒などで路面を確認しながらゆっくり歩く。
- ⑤ 道路が川のようになってしまう、外への避難がcaえて危険な場合は、自宅の2階以上に避難する。

2015年9月の関東・東北豪雨で、川の堤防が決壊して冠水した大崎市内

【情報の入手方法】

気象情報や避難情報などを入手して、早めに行動することが重要です。

- ◆ テレビ(データ放送) ◆ ラジオ
- ◆ インターネット

- 仙台市危機管理室Twitter
- 宮城県土木部 総合情報システム
- 仙台市避難情報ウェブサイト

豪雨に備え家族会議を

そこで今回、みなさんにお願ひしたいのは、台風や大雨についての家族防災会議を開いてほしいということです。

地震への備えについては、家族で話し合いをしていくことと、みなさん

が、台風や大雨についても備えが必要です。

台風などの自然災害を防ぐことはできませんが、被害を減らす「減災」の取り組みはできます。

避難場所や家の周り確認

台風や大雨の場合、進路や降水量、河川の水位の予測など、事前に情報を得ることができ、早めに準備することができ、日頃の備えや災害時の行動などについて確認しておきましょう。

また、家の周りの側溝や雨どいのつまり、屋根のめくれや雨戸のがたつき、飛ばされそうな植木鉢などがないかの点検や、浸水の心配があれば土のうの用意もしておくことが大切です。

(仙台市地震防災アドバイザー・及川由佳里)

|| 最終週に掲載

今週の注目ニュース

◇28日(月) 4月に行われた全国学力テストの結果を公表(文部科学省)

小学6年生と中学3年生が受けたテストだよ。今回から都道府県別のほかに、政令指定都市別の成績も発表するんだ。

◇31日(木) サッカーのワールドカップ・アジア最終予選B組で日本がオーストラリアと対戦(さいたま市・埼玉スタジアム)

ここまで日本は勝ち点17で首位。試合に勝てば6大会連続で本大会出場が決まる。応援に力が入るね。

2 ニュースゴング 3 3分チャレンジ 4・5 いいね 小学校 6 英語 7 かほくワークシート 8 中学生の相聞歌